

平成27年9月16日

県政記者室 報道機関各社 御中

第11回山梨大学教職大学院「教育実践フォーラム」の開催について（お願い）

本学教職大学院は、平成22年度の設置から本年度で6年目を迎えました。この間、教育現場が抱える諸課題に対応できる、より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成と現職教員を対象に地域や学校において指導的・中核的な役割を果たし得るスクールリーダーの養成を行って参りました。

この実績を踏まえ、このたび本教職大学院では、「教職大学院の役割とこれからのあり方」をテーマに、これまでの授業や実習を総括した基調発表をもとにシンポジウムを開催し、教師の資質・能力の向上を図るための方策や今後のあり方について、教員、教育関係者及び教員を目指す学生の皆様と共に考え、また、情報の提供と参加者相互の交流の場ともするため、標記フォーラムを開催することといたしました。

つきましては、イベント情報提供等の番組コーナー・紙面等で本フォーラムの開催をお取り上げの上、広くご紹介いただきますとともに、開催日当日の取材について、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

- 日 時 平成27年10月17日(土) 14:00～16:30
- 会 場 山梨大学甲府西キャンパス N号館1階 N-11教室
- 内 容 (1) 14:10～【基調提案】
「教職大学院のこれまでの活動の総括
ー山梨大学教職大学院の5年間をふり返るー」
中村享史（山梨大学大学院教育学研究科教授）
- (2) 14:55～【シンポジウム】
テーマ「教職大学院の役割とこれからのあり方」
- 主 催 山梨大学教職大学院（大学院教育学研究科教育実践創成専攻）
- 後 援 山梨県、甲府市、南アルプス市、甲斐市、中央市、昭和町、韮崎市、北杜市、
山梨市、甲州市、富士川町、富士河口湖町、上野原市 各教育委員会
- その他 事前の申込がなくてもご参加いただけますが、準備の都合上、電子メール、電話による事前申込を受け付けております。お手数をおかけいたしますが、氏名及び電話番号を下記宛てご連絡ください。
 - ・ Eメール： edu-hs@yamanashi.ac.jp
 - ・ 電 話： 055-220-8107 山梨大学教育人間科学域支援課

【問い合わせ先】

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

山梨大学教育人間科学域支援課総務G 奥秋

TEL 055-220-8107 FAX 055-220-8791

教職大学院の役割とこれからのあり方

日時 2015年 10月 17日 (土) 14:00~

会場 山梨大学甲府西キャンパス N号館1階 N-11教室

14:10~14:50 基調提案

14:55~16:25 シンポジウム

■ 基調提案

「教職大学院のこれまでの活動の総括

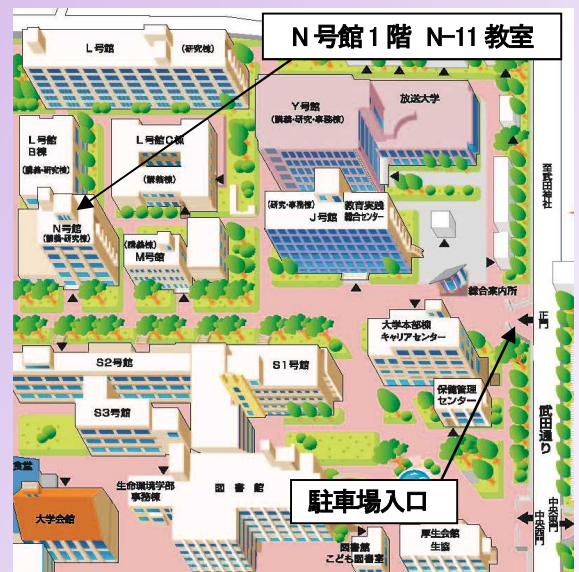
—山梨大学教職大学院の5年間をふり返る—

中村 享史 (山梨大学大学院教育学研究科 教授)

■ シンポジウム

コーディネーター	寺崎 弘昭	(山梨大学大学院教育学研究科 教授)
シンポジスト	仙洞田 篤男	(前山梨大学大学院教育学研究科 客員教授)
	樋口 和仁	(山梨県教育委員会義務教育課 課長補佐)
	長田 正樹	(山梨県立甲府東高等学校 校長)
	杉山 ひとみ	(昭和町立西条小学校 教諭)
	中村 享史	(山梨大学大学院教育学研究科 教授)

山梨大学建物配置図 (甲府西キャンパス)



- 【主催】 山梨大学教職大学院
- 【後援】 山梨県教育委員会 甲府市教育委員会
南アルプス市教育委員会 甲斐市教育委員会
中央市教育委員会 昭和町教育委員会
韮崎市教育委員会 北杜市教育委員会
山梨市教育委員会 甲州市教育委員会
富士川町教育委員会 富士河口湖町教育委員会
上野原市教育委員会
- 【対象者】 どなたでも無料で参加できます。(当日参加可)

【バス】JR甲府駅北口から「武田神社」又は「積翠寺」行きに乗車、「山梨大学」下車(約5分) 【徒歩】JR甲府駅北口から武田通りを北上(約15分)

問い合わせ先 山梨大学教育人間科学域支援課 TEL:055-220-8107 E-mail:edu-hs@yamanashi.ac.jp